

令和3年度学術情報の収集・保存に係る学協会アンケート

1. 団体の基本情報

1-1. 名称

[必須]貴団体の法人種別を教えてください。

- A) 一般社団法人
- B) 一般財団法人
- C) 公益社団法人
- D) 公益財団法人
- E) 社会福祉法人
- F) 特定非営利活動法人（NPO 法人）
- G) その他（自由記述）

[必須]貴団体名を教えてください。

[必須]貴団体が「学会名鑑（外部サイト）」に収録されているかどうかを教えてください。

- A) 学会名鑑に収録されている
- B) 学会名鑑に収録されていない

1-2. 連絡先

貴団体の刊行物に関する連絡先を教えてください。

ご担当の部署がございましたら教えてください。

メールアドレスを教えてください。

電話番号を教えてください。

ご担当者のお名前を教えてください。

2. 刊行物の納本状況

紙媒体や CD-ROM・USB メモリ等の記録媒体の刊行物は、講演要旨・予稿などの会議資料を含め、国立国会図書館法に基づく[納本制度](#)の対象となっています。

2-1. 刊行物の国立国会図書館への納本

[必須]直近3年間の刊行物の国立国会図書館への納本状況を教えてください。

- A) 全て納本している
- B) 納本していない刊行物（紙媒体・CD-ROM・USB メモリ等）がある

2-2. 国立国会図書館へ納本していない理由

[2-1 で B を選択した場合]

- A) 納本制度を知らなかった
- B) 納本の対象となるかが分からなかった
- C) これから納本する予定である
- D) その他（自由記述）

2-3. 国立国会図書館に納本していない刊行物の情報

[2-1 で B を選択した場合]

国立国会図書館に納本していない刊行物のタイトルや形態、付与されていれば ISSN または ISBN を教えてください。

3. オンライン資料（電子ジャーナル等）の提供状況

国立国会図書館は、国立国会図書館法に基づき、オンライン資料を収集しています。現状では、無償かつ[技術的制限手段（DRM）](#)のないもの（J-STAGEや機関リポジトリで保存・公開されているものを除く。）が[オンライン資料収集制度](#)の対象です。ただし、学協会が刊行する有償のオンライン資料については、その重要性に鑑み、個別に任意提供のお願いをしています。

3-1. オンライン資料の国立国会図書館への提供

[必須]オンライン資料の国立国会図書館への提供状況を教えてください。

- A) 全て提供している
- B) 提供していないオンライン資料がある

3-2. 国立国会図書館に提供していない理由（複数選択可）

[3-1 で B を選択した場合]

- A) オンライン資料収集制度を知らなかった
- B) オンライン資料収集制度の対象となるかが分からなかった
- C) J-STAGE、機関リポジトリ等で公開している
- D) 有償または DRM つきのオンライン資料である
- E) その他（設問 3-3.でオンライン資料のタイトルと併せて理由をご記入ください）

3-3. 国立国会図書館に提供していないオンライン資料の情報

[3-2 で A または B を選択した場合]

国立国会図書館に提供していないオンライン資料のタイトルを教えてください。

[3-2 で C を選択した場合]

J-STAGE、機関リポジトリ等で公開しているオンライン資料のタイトルと URL を教えてください。

[3-2 で D を選択した場合]

有償または DRM つきのオンライン資料のタイトルを教えてください。

[3-2 で E を選択した場合]

「その他」に該当するオンライン資料のタイトルと理由を教えてください。

4. 刊行物の電子ジャーナル・デジタル化への対応状況

ここでは、「電子ジャーナル」「デジタル化」をそれぞれ以下の意味で使用しています。

電子ジャーナル：

電子版での刊行を意図して作成された学会誌。創刊当初からに限らず、ある巻号から電子版に切り替える（電子ジャーナル化する）ことや、電子版と並行して紙媒体が刊行されることもあります。

デジタル化：

紙媒体のみで刊行された学会誌や会議録などをスキャンし、電子版を作成すること。

4-1. 現在継続している刊行物の電子ジャーナル化

[必須]現在刊行を継続している学会誌について、各タイトルの電子ジャーナル化の状況を教えてください。

- A) 全てのタイトルを電子ジャーナル化し、紙媒体は刊行していない
- B) 全てのタイトルを電子ジャーナル化したが、紙媒体でも刊行しているものがある
- C) 一部のタイトルのみ電子ジャーナル化し、紙媒体の刊行も続けている
- D) いずれも電子ジャーナル化していないが、電子ジャーナル化を予定または検討している
- E) いずれも電子ジャーナル化しておらず、現時点で電子ジャーナル化の予定はない

[4-1 で B または C を選択した場合]

電子版と並行して紙媒体でも刊行しているタイトルを教えてください。

4-2. 刊行済みの刊行物のデジタル化進捗状況

[必須]刊行済みの学会誌等について、デジタル化の進捗を教えてください。（複数選択可）

- A) 全てデジタル化した
- B) デジタル化していないタイトルまたは一部の巻号があり、貴団体でのデジタル化を検討している
- C) デジタル化していないタイトルまたは一部の巻号があり、他機関によるデジタル化を検討している
- D) デジタル化していないタイトルまたは一部の巻号があり、現時点ではデジタル化の予定はない
- E) いずれの刊行物もデジタル化していない

[4-2 で A 以外のいずれかを選択した場合]

デジタル化していない刊行物のタイトルとデジタル化していない巻号や期間を教えてください。

国立国会図書館によるデジタル化と公開

国立国会図書館は、「資料デジタル化基本計画 2021-2025」に基づき、刊行から 5 年以上が経過し、学協会等から公開のご要望をいただいた刊行物については、優先的にデジタル化することとしています。

国立国会図書館がデジタル化した資料には、全てデジタルオブジェクト識別子 (DOI) を付与しており、OCR や構造解析等の技術を利用しつつ、目次情報や本文のテキストデータなどの作成も進めていくこととしています。また、著作権者や出版者の許諾を得たものについては、国立国会図書館デジタルコレクションでのインターネット公開を進めています。

貴団体がデジタル化していない刊行物について、国立国会図書館がデジタル化した場合、国立国会図書館デジタルコレクションでのインターネット公開を希望しますか。なお、希望の有無にかかわらず、国立国会図書館がデジタル化した刊行物は、国立国会図書館内で閲覧可能となります。また、著作権法に定められた範囲で、図書館及び、国立国会図書館に氏名等を登録した個人（令和 4 年度開始予定）を対象とした送信サービスでも利用可能となります。

- A) 国立国会図書館デジタルコレクションでのインターネット公開を希望する
- B) 国立国会図書館デジタルコレクションでのインターネット公開を希望しない

4-3. 刊行済みの刊行物のデジタル化仕様

[必須]刊行済みの学会誌等について、デジタル化の内容を教えてください。外部非公開のものも対象に含みます。(複数選択可)

- A) XML、EPUB、構造化 PDF による本文のテキストデータの構造化を行っている
- B) OCR によるものを含め、本文のテキストデータを含んでいる
- C) 本文のテキストデータを含んでいない、または含んでいるか分からない(単なる PDF、JPEG 等の画像データ)
- D) デジタル化している刊行物はない

4-4. デジタル化した刊行物の URL

デジタル化した刊行物を公開・提供しているウェブサイトの URL を教えてください。
設問 3-3 でご回答済みのものについては、再度のご記入は必要ありません。

4-5. デジタル化した刊行物の公開・提供

デジタル化した刊行物の公開・提供状況を教えてください。(複数選択可)

- A) デジタル化後、即時・無償で一般公開している
- B) 刊行から 5 年後などの保護期間(エンバーゴ)を設けて、その後は無償で公開している
- C) 会員等に限定して公開・提供している
- D) データベースに収載し、ペーパービュー(Pay Per View:PPV)とするなど、有償で提供している
- E) 全文(本文)テキストの検索機能を提供している
- F) その他(自由記述)

[4-5 で F を選択した場合]

公開・提供状況等を具体的に教えてください。

5. 会議資料

5-1. 会議資料の刊行状況

[必須]主要な学術研究大会や研究会にあたって、講演要旨や予稿などを刊行（会員や参加者等に配付）していますか。（複数選択可）

- A) 紙媒体やCD-ROM等の記録媒体で単体の刊行物として刊行・配付している
- B) 学会誌（特別号を含む）に掲載している
- C) 会員や参加者等に限定し、電子ファイルをインターネット上で閲覧できるようにしている
- D) 電子ファイルをインターネット上で一般公開している
- E) いずれも刊行していない（※設問5-4へ）

5-2. 会議資料の納本（制度に基づく提供を含む。）

[5-1でA～Dのいずれかを選択した場合]

設問5-1で回答した刊行物について、直近3年間の国立国会図書館への納本状況を教えてください。（複数選択可）

- A) 全て納本している
- B) 納本対象であるが、納本していないものがある
- C) 有償またはDRM付きのオンライン資料であり、納本対象ではない

5-3. 国立国会図書館に納本していない会議資料の情報

[5-2でBを選択した場合]

国立国会図書館に納本していない講演要旨、予稿などの会議資料のタイトルや形態、納本していない理由を教えてください。

設問2-3または3-3でご回答済みのものについては、再度のご記入は必要ありません。

[5-2でCを選択した場合]

有償またはDRM付きのオンライン資料である会議資料のタイトルを教えてください。

設問3-3でご回答済みのものについては、再度のご記入は必要ありません。

5-4. 会議関連資料の保存

[必須]主要な学術研究大会や研究会におけるスライド等の発表資料や録音・録画（ビデオ）について、組織的な保存・提供の取組を行っていますか。（複数選択可）

- A) 保存し、一般公開している
- B) 保存し、会員や参加者等に提供している

- C) 保存しているが、提供はしていない
- D) 保存していない

6. 海外で刊行されている刊行物

貴団体単独または国内外の複数の団体と共同して海外の出版社から刊行されている刊行物がありますか。もしあれば、タイトルや出版社（例：Springer、Wiley）などを教えてください。電子媒体の場合はURLも教えてください。

7. 資料の保管に関する取組

貴団体が刊行する刊行物（電子版を含む）の保管のほか、会員の著作、その他の刊行物や史料などの収集・保管について、組織的な取組を行っていますか。（複数選択可）

- A) 独自に貴団体が刊行する刊行物を網羅的に保管している（デジタル化を含む）
- B) 会員の著作、その他の資料・史料を収集・保管している
- C) 収集・保管する資料を会員等に提供している
- D) 収集・保管する資料を一般に提供している（資料室や図書館の運営を含む）
- E) 刊行物の保管は行っていない
- F) その他（自由記述）

[7でFを選択した場合]

資料の収集・保管について、組織的に行っていること（ある年代からは網羅的に保管している等）がありましたら、教えてください。

8. ウェブサイトの収集

国立国会図書館は、国立国会図書館法に基づき、公的機関のウェブサイトを網羅的かつ定期的に収集・保存しています。

民間機関のウェブサイトについても、公益法人、私立大学、政党、国際的・文化的イベント、学協会などを対象に、事前に許諾を得られたものについて、定期的に収集・保存しています。これらのウェブアーカイブの取組を国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）と呼んでいます。学協会のウェブサイトも積極的に収集しています。

[\(学協会のウェブサイトの例 \(WARP ページヘリンク\)\)](#)

保存したウェブサイトは、国立国会図書館内で提供し、さらに一般公開の許諾を得られたものについては、インターネット公開しています。

なお、貴団体のウェブサイトに掲載されている刊行物（無償かつ DRM のないもの）を単独で保存対象としたい場合は、「[オンライン資料収集制度](#)」（設問3参照）により提供してください。

8-1. 国立国会図書館によるウェブサイトの収集

[必須]国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）をご存知でしたか。

- A) 知っていた
- B) 知らなかった

8-2. 貴団体ウェブサイトの収集

[必須]貴団体ウェブサイトについて、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）による収集を希望しますか。

- A) 依頼を受け、既に許諾済みである
- B) 希望するまたは関心がある
- C) 特に関心がない

9. 国立国会図書館への要望等

学術の成果物を保存・公開することについて、国立国会図書館へのご要望などがありましたら、教えてください。